

令和5年第2回 市民福祉委員会会議録

令和5年6月8日

第2委員会室

開 会： 午後1時27分

委員長 服部 紀史

副委員長 林 貴光

2番委員 秋山 佳寛、3番委員 平林多津子、4番委員 柘植 孝彦、5番委員 堀 光明

委員長 ; 皆さんこんにちは。定刻前ではありますが、全員おそろいのようなので、ただいまから、令和5年第2回市民福祉委員会を開会いたします。

本日の会議は、去る5月30日の本会議において、当委員会に付託された議案の審査であります。議事の進行は次第書の順序で行いますので、よろしく願いいたします。それでは、初めに小坂市長、御挨拶をお願いいたします。

市長 ; 皆さんこんにちは。午後の大変お忙しい中、こうしてお集まりをいただきまして、ありがとうございます。幾つか私のほうからは報告を申し上げたいと思います。

1つは、先週金曜日から土曜日にかけて発生しました大雨の被害でございますが、件数だけ、かいつまんで御説明申し上げます。

まず被害のほうですけれども、住家の床下浸水が17件だったそうです。それから非住家、これ小屋とかですね、そういったところに水が入ったケースが3件、それから、あとは施設としましては、道路が66件、それから河川が29か所、農地も99か所、それから林道が19か所ということで、こういった施設につきましては、200か所を超える213か所の被害があったという、速報として届いております。大きな被害はなかったということでまず一安心でございますが、また今週末、大雨降るということでございますので、注意をしていきたいというふうに思っております。

それから、今週の火曜日ですね、スマートインターチェンジの件で、恵那峡サービスエリアにスマートインターを設けるということで、国のほうへ要望を行ってまいりました。

市議会からも西尾委員長に御参加をいただきまして、国交省の技監はじめ、各国会議員、それから、それぞれの課長さんのところまで行ってまいりました。

何とかこれがですね、動くのではないかなと、少し手応えを持ちながら帰ってきた

ところでございます。引き続き、推進に向けて動いてまいりたいというふうに思います。以上報告を申し上げます。

本日も、3つの案件ですね。ぜひ活発に御意見賜りますように、よろしくお願い申し上げます。以上です。

委員長 ; ありがとうございます。
続きまして、千藤議長、御挨拶をお願いいたします。

議長 ; 皆さんこんにちは。大変御苦労さんでございます。
今、市長さんから話がありましたように、先週末の災害には、執行部の皆さんは適切な対応をしていただき、ありがとうございました。今年もまだエルニーニョとかいろいろな話の中で、いろんな大きな雨が降るとか風が吹くとかというような話もありますので、執行部の皆さん、避難所の開設とかいろいろ大変だと思いますけど、これから梅雨に入っておりますので、適切な対応をよろしくお願いします。
3件の議案審議でございます。活発な委員会になることをお願いして、挨拶とします。よろしくお願いいたします。

委員長 ; ありがとうございます。
それでは議題に入りますが、議案の内容は本会議において詳細説明まで受けておりますので、直ちに委員の質疑、それに対する答弁、討論、採決という順序で進めさせていただきます。なお、発言につきましては、委員長の許可を得て、必ずマイクのランプが点灯していることを確認し、着座にて、マイクに向かって、簡素に質疑、答弁をされますようお願いいたします。

委員長 ; 初めに、「議第42号 恵那市国民健康保険条例の一部改正について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありますか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありますか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第42号」は原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第42号」は原案のとおり、可決すべきものと決

しました。

委員長 ; 次に、「議第44号 恵那市介護保険条例の一部改正について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第44号」は原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第44号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第49号 令和5年度恵那市一般会計補正予算(第2号)(歳入歳出所管部分)」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありますか。

1番委員。

1番委員 ; よろしくお願ひします。3款2項2目の出産子育て応援給付金事業についてお伺ひします。全員協議会でも説明あったと思いますけれども、この事業を継続的な事業にしたいという、担当課からのお話があったと思います。

これも国庫支出金がなくなったとしてもですね、市費でこの事業が継続されていくのか。もう一度その腹づもりみたいなものを、お聞かせ願ひたいと思います。

委員長 ; 子育て支援課長。

子育て支援課長 ; よろしくお願ひします。この事業については、市民意識調査で、子育て支援策として経済的支援を求めていることや、実際に持つつもりの子どもの人数と、理想とする子どもの人数に差があることから、子どもを産むのを諦める人が増えないよう支援するとともに、令和4年度から実施しております市独自の子ども医療費助成を高校生世代への拡大を初めとする多子世帯への支援、妊産婦への支援など、子育て支援策と今回の事業により、相乗効果で少子化対策につながるのではないかなというふうに考えています。

また、国のほうも異次元の少子化対策ということで検討を進めていますので、国、県などの動向を注視しながら、子育て支援策として総合的に見て、こういった事業が効果があるのか検討しつつ、予算を確保して進めていきたいと考えています。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。

3番委員。

3番委員 ; 今回の1番委員の質問に付け足しです。今回の出産子育て応援給付金事業は東濃で初めての支援事業だということで、大変すばらしいことだと思います。それで、それ以降の6ページ、3款2項2目の出産子育て応援給付金であるとか、3款2項2目の岐阜県高等学校就学準備等支援事業、これ県の事業となっておりますけども、これらについても引き続き、来年度、県として組まれているのかどうかという、継続事業となっているのかということをお尋ねしたいと思います。お願いします。

委員長 ; 子育て支援課長。

子育て支援課長 ; はい。それでは私のほうからは、第2子以降出産祝金の事業についてですが、これ県の事業ですが、県は継続事業となるよう、来年度以降も予算確保に努めると回答しておりますので、県の動向を見ながら、進めていきたいなというふうに考えております。以上です。

委員長 ; 社会福祉課長。

社会福祉課長 ; はい。同じく、岐阜県高等学校就学準備等支援金の事業につきましても、今子育て支援課長が答弁したとおり、県のほうでは継続事業となるように、予算付けをしつかりしていくということ、岐阜県は子育て支援課というところが担当課ですけども、そういった話を伺っておりますし、本年度の県の当初予算の資料、知事のコメント等を拝見しましても、人口減少社会からの脱却ということをテーマにして、県のほうでも大きな予算付けをしているということで認識をしております。ぜひ、継続していけるように、私どももお願いをしてまいりながら進めていきたいと思っております。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。

3番委員。

3番委員 ; はい。お願いします。予算資料の4ページです。4款1項3目の新型コロナウイルスワクチン接種事業費についてお尋ねします。5類化になって、随分希望人数は減っているのではないかとワクチン接種の、と思いますが、5類化される前からも減っているのではないかとということで、この間の希望人数の変化はどのようになっ

いるかお尋ねしたいと思います。お願いします。

委員長 ; 健幸推進課長。

健幸推進課長 ; はい、よろしく願いいたします。春開始接種の予約者数につきましては一部、直接受付をされている医療機関を含んでいませんが、今市の予約システムで受け付けをしている予約者数は、昨日現在で6,233人となっております。接種券の発送者数が1万4,103人となっております。その中で予約としましては、44%の方が予約を今しているというところでは、昨年までの秋接種と比べますと若干少ないという状況となっております。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。

5番委員。

5番委員 ; それでは住民基本台帳ネットワークシステムの件について聞きたいと思いますが、これはマイナンバーに関わることです。今国でも大変話題になっています。恵那市は大変人を動員して、取組を推進ということで、大変評価しているところがございます。そして昨日あたりはですね国で13万件ぐらい、間違いがあったということがありますし、その前に県の古田知事も、8件あったということです。大変システムに問題があるということも言われています。恵那市については、この辺は問題ないかということをお聞きしたいです。

委員長 ; 市民課長。

市民課長 ; はい。当市において今までの事案については、誤り事案の記録はございません。申請から交付に至るまでの間には逐次のチェックを重ねておりますので、発行に対するシステムというか業務的には問題ないと思っております。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。

3番委員。

3番委員 ; お願いします。ただいまの5番委員の質問に付け足しですが、市内の医療機関でマイナ保険証システムができている医療施設がどれぐらいあるのかお尋ねしたいと思います。

それからまた、これだけ全国でいろいろ問題起きてくると未然防止策が必要かと思っております。どのような防止策をとってみえるのかということをお尋ねいたします。

委員長 ; 市民課長。

市民課長 ; マイナ保険証を導入している医療機関は市民課では数を把握しておりませんので、お答えいたしかねます。

今問題になっているポイント等につきましては、当市のサポート窓口においては、
手続後のログアウトと、ブラウザの再起動を徹底して、誤りがないように努めてお
りますので、現在まで誤りがあったという報告はございません。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。

3 番委員。

3 番委員 ; 今の質問に付け足しですけれども、例えば公的機関では、全てマイナ保険証対応機械
が置かれているかと思いますが、その辺の利用状況はどんなふうでしょうか。

委員長 ; 地域医療課長。

地域医療課長 ; 市内の公立の医療機関、歯科診療所につきましては、顔認証のカードリーダーは全
て設置済みでございます。マイナンバーカードの健康保険証の利用の方につきましては、
現在、市立恵那病院ですと1日あたり10件、上矢作病院ですと月に2・3
件、三郷診療所は1日に5件から8件、飯地診療所、岩村診療所は1日に2・3件
と伺っております。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。

3 番委員。

3 番委員 ; お願いします。予算資料の4ページ、3款1項1目の電力・ガス・食料品等価格高
騰緊急支援給付金事業費についてです。住民税非課税世帯数は、全員協議会の中
では、令和4年度には、住民税非課税世帯が3,792世帯、家計急変は21世帯と伺
ったのですが、コロナ以前の令和元年からどのように変遷しているのかお聞きしたい
と思います。お願いします。

委員長 ; 社会福祉課長。

社会福祉課長 ; はい。令和元年度から細かな数字は把握しておりませんが、税務課から頂いている
情報を拝見しますと、非課税世帯というのは毎年減少傾向にあるということ伺
っています。今議員おっしゃっていただきました、昨年度、本事業を、秋に1世帯当
たり5万円ということで実施をさせていただいたということです。その折には、こ
ちらから支給をさせていただいた世帯として、今議員おっしゃったように、非課税
世帯3,792、家計急変世帯21というところございました。

これを受けて本年度、予算計上させていただいたものは、こういった実績を踏まえ
て非課税世帯は4,000世帯、家計急変世帯は100世帯ということで、本6月補正の
中で計上させていただいたというところがございます。はい。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。

4 番委員。

4番委員 ; はい。質問とはちょっと違うかもしれませんが。要望に近いんですけども、先ほど、予算のほうで出ておりました出産子育ての応援給付金。私身内にも子育ての年代といますか世帯がありますが、やっぱり第3子というのはすごくハードルが高いということを言っております。そういった中で今回、市のほうで追加と申しますか、10万円の給付金を付けられたということは大変、良いなと思うんですが、もっと思い切ってやってもいいのかなということも少し思っておりますし、そういった第3子に対しての支援の仕方というのはいろいろ出てくるかなと思います。今後国のほうも、いろいろな支援策が出てくると思いますので、そういったところの活用、それから市としての支援策を思い切ってやれるような施策をぜひ要望したいと思いません。これは要望になります。

委員長 ; 要望でよろしいですか。

4番委員 ; はい。

委員長 ; ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

3番委員。

3番委員 ; はい、お願いします。座ったままでいいですか。

はい、令和5年度6月補正予算の2款3項1目の住民基本台帳ネットワークシステム経費1,042万5,000円の予算計上に反対することから、意見を述べさせていただきます。

これは国の政策で行われていることとはいえ、各自治体がどう考えるのか明確にすべきと考えます。

この間、先ほども話題になりました、マイナンバーカードの普及のために、多くの国の予算が使われました。また各自治体での職員作業は大変だったものと思われま

す。私たちは以前から、国が「デジタル化により便利になる」というふうには、早急に進めようとする政策について、様々反対意見を述べさせていただきました。マイナンバーは個人情報流れやすいシステムであり、また、預金通帳とひもづけされたり、健康保険証として使われたりしたら大変なことになるということを懸念してきました。

その懸念が、今、現実的に起こっており、最近では毎日報道されています。

健康保険証とのひもづけで誤登録されたものが7,300件以上あり、命が危険にさらされるようなことが大きく報道されています。

そのほか、コンビニでの別人の証明書交付、希望しない人へのマイナ保険証交付、別人のカードへの公金受取口座登録が748件などなど、次々問題となっています。これらはシステムの不具合や人為ミスなどが原因と言われますが、カード普及率を上げるために、性急に行ってきたことが問題だと考えます。

何よりもこうした個人情報を扱うシステムは、あらゆる可能性を考えて慎重に行うべきことであり、見切り発車してからシステムの再点検で済ませられることでは決してないと考えます。

今回の補正予算は、子育て支援や物価高騰対策など、多くの支援策が盛り込まれていますが、この1項目について、住民基本台帳ネットワークシステム経費について、反対いたします。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ほかにありませんので、討論を終結し、採決を行います。

「議第49号」は原案のとおり可決することに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

委員長 ; 挙手多数であります。よって「議第49号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員長 ; 以上で予定の議題を全て終了いたしました。

最後に、本会議における委員会審査結果報告書の作成については、正副委員長に一任いただくことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ありがとうございます。

それではこれもちまして、令和5年第2回市民福祉委員会を閉会いたします。

どうもお疲れさまでございました。

午後1時46分閉会

恵那市議会委員会条例第30条の規定によりここに署名又は押印する。

恵那市議会 市民福祉委員長 服部紀史